

平成30年度 8月定例記者会見 会見録

日時 平成30年8月22日（火）午後2時～2時35分

場所 市役所2階第1特別会議室

（市長）

はじめに、市立小学校全校へのエアコン設置についてです。本市では、子どもたちが安全で安心して快適な学校生活を送れるよう、校舎や屋内運動場、トイレの改修など、学習環境の整備に重点的に取り組んでおります。特に、エアコンの設置については、記録的な猛暑が続いており、子どもの体調や、授業の集中力への影響が懸念されることから、取り組みをさらに加速させ、早急に整備する必要があります。すでに中学校については、平成29年度までに全校への整備が完了しておりますが、小学校については、今年度末で72校中46校が完了する見込みとなっております。残りの小学校26校については、本市といたしましても、引き続き、国の補正予算など、積極的に財源の確保に努めながら、平成32年度までの計画を前倒しし、来年度の夏休み期間の短縮に合わせまして、全校へのエアコンの設置を完了できるよう進めてまいります。

次に、2020年東京オリンピック競技大会自転車ロードレース競技のコース決定についてです。既にご承知のことと思いますが、今月9日に、大会組織委員会より自転車ロードレース競技のコースが正式に発表され、その一部が本市域内に設定されることになりました。オリンピック競技が本市において実施されますことを大変嬉しく思います。大会時には、子どもたちをはじめとする市民の皆様が、トップアスリートによる競技を間近で観戦できるほか、本市のスポーツ振興や観光振興に繋がる貴重な機会になると期待しております。コースの決定に伴い、市議会9月定例会議の補正予算案には、大会機運の醸成、PR等に要する経費を計上させていただいております。今後も、大会組織委員会や関係機関との連携をより一層深めながら、歴史に残るすばらしい大会となるよう、市民の皆様とともに取り組みを進めてまいります。

次に、「FINAダイビングワールドシリーズ 2019相模原大会」の開催についてです。国際水泳連盟が主催いたします飛込競技の世界大会が来年3月1日（金）から3日（日）までの3日間、さがみはらグリーンプールで開催されます。本市における世界規模の競技大会の開催は初めてのことであり、約20カ国からオリンピックや世界水泳のメダリストが出場予定のほか、本市在住

で、リオデジャネイロ オリンピックにも出場した坂井 丞選手の出場も決定しております。市民の皆様には、是非この機会に、世界トップレベルの飛込競技を観戦していただき、鍛え抜かれた演技の美しさや、技術の高さなど、スポーツの醍醐味を体感していただければと思います。

次に、様々な状況にある生徒への中学校デリバリー給食の支援の充実についてです。中学校に通う生徒の中には、家庭環境により昼食を用意できなかったり、学校給食を利用しにくかったりする方がおられます。こうした状況を改善するため、本市では9月から、2つの新たな取組を実施いたします。1つ目は、家庭環境により昼食を用意できない生徒への支援です。本市では、様々な事情により昼食を用意できない生徒へ無償で給食を提供する支援制度を創設いたしました。この制度では、昼食を用意出来ない状況の生徒を生活環境における課題が表面化した「サイン」ととらえ、給食の支援にとどまらず、各区の子育て支援センター等と連携し、その他の必要な支援につなげるなど、根本的な課題の解決にも結びつけてまいりたいと考えております。2つ目は、就学援助認定世帯の生徒への支援です。本市のデリバリー給食は給食費を事前に払い込む制度となっておりますことから、一時的に金銭の負担が発生し、ご家庭によっては給食を利用しづらい状況にありました。こうした状況を踏まえ、対象の生徒については、事前に費用を負担することなく、給食を提供する仕組みに変更いたしました。中学生は、心身が大きく成長する時期ですので、今後とも栄養バランスのよい食事をしっかりと取ることができるよう、支援してまいりたいと思います。

最後に、相模原市総合防災訓練についてです。首都直下地震や東海地震、南海トラフ地震等、本市に重大な被害を及ぼす地震の発生が危惧される中、今年、9月2日（日）に相模総合補給廠一部返還地を主会場として、総合防災訓練を行います。当日は、警察、消防、自衛隊、在日米陸軍などが連携し、倒壊した建物からの救出訓練や、消火訓練、医療救護訓練などを実施いたします。また、来場の方も参加できる訓練として、水消火器による初期消火、起震車による震度体験、火災時の煙体験などを実施するとともに、企業、団体による展示・体験エリアも設けられます。今年も、大阪府北部を震源とする地震や、西日本における豪雨災害など大規模な災害が発生しております。災害はいつ起こるかわからないものであるということを常に意識し、関係機関や各団体、九都県市の各自治体等との連携体制の強化を図り、いざという時に備えてまいりたいと思います。

私からは、以上でございます。

(記者)

東京オリンピックの自転車ロードレースのコースに相模原市が入ることが決定しましたが、沿道の地域の方々と五輪を歓迎する取組みやコースの道路整備についてお伺いします。

(市長)

自転車競技ロードレースが本市において実施されることが決定し、大会時には、市民の皆様がトップアスリートによる競技を間近で観戦できるほか、大会後のレガシーとして、本市のスポーツ振興や観光振興に繋がる貴重な機会になるなど、大きな期待を寄せております。コースについては、大会組織委員会からは、現道をそのまま使用できると伺っており、市としては、競技の実施に支障が出ないよう良好な道路環境の維持・管理に努めてまいりたいと思っております。また、競技の盛り上げに向けた取組としては、多くの市民の皆様にロードレースの迫力や醍醐味を知っていただくため、9月定例会議の補正予算案には、PR動画の制作費等に係る経費を計上させていただきました。今後、様々な機会を捉えて競技の魅力を多くの市民の皆様に知っていただくとともに、沿道の地域の皆様にも適時適切に情報提供を行い、ご理解・ご協力をいただきながら、大会の成功に向けて取り組んでまいりたいと思っております。

(記者)

中学校デリバリー給食による昼食支援について、この事業への市長の思いをお伺いします。

(市長)

家庭環境により、昼食を用意できない生徒がいるということは承知しております。今までも、生徒の成長や健康に関わることなので、すぐに昼食を食べられるように臨時的・緊急的な措置として、デリバリー給食の無償提供を行ってきましたが、生徒が心配なく食事が摂取できる環境を整えるため、昼食の支援制度を創設するに至ったものでございます。また、昼食の用意ができないということを生活環境における課題が表面化した「サイン」ととらえ、給食の支援にとどまらず、根本的な解決を図っていくことが重要です。この取り組みをきっかけに、子どもの学習や食の環境だけではなく、家庭環境の課題解決につながっていけばと思っております。

(記者)

給食の支援を充実するに至った理由を教えてください。

(市長)

昨年度、中学生の昼食の状況について教育委員会で調査を行ったところ、家庭環境により昼食を用意できない生徒が数名、時々昼食を用意できない生徒が二十数名いることが判明しました。生徒の健康にかかわることなので、臨時的・緊急的な措置として、デリバリー給食の無償提供を行っていましたが、昼食を用意できない原因についてしっかりと把握し、根本的な課題解決を図っていく過程の間、安心して学校生活を送れるような環境を作っていかなければならない、という思いから給食の支援制度を創設するに至ったものでございます。

(記者)

就学援助認定世帯へのデリバリー給食支援についてお伺いします。デリバリー給食実施校における平成30年度就学援助認定者は2,090人で、デリバリー給食実施校30校の生徒数の約14%ということですが、他の自治体と比較して多くの方が市の援助を受けているということでしょうか。

(教育長)

相模原市の就学援助認定者の割合は、全国の平均とほぼ同じです。

(市長)

就学援助では、給食費のほか、学用品や修学旅行費用等の援助も行っております。

(記者)

東京オリンピックの自転車ロードレースについてですが、7月18日に国道413号でサイクリング部の練習中の高校生が観光バスにひかれて死亡する事故が起きております。今後、オリンピックへの機運が高まると、一般のファンの方がロードバイク等でコースを走ることが想定されますが、道路の安全対策について、どのように考えているのかお伺いします。

(市長)

国道413号は、本市が旧津久井郡と合併する前から山梨県方面への主要道路として神奈川県や山梨県が道路整備を進め、政令指定都市に移行してからは、本市が神奈川県から引き継ぎ整備を行っております。この道路がオリンピックのロードレースのコースに決定したということで、これまでも、特に土曜日や日曜日、ゴールデンウィーク等の連休に、自転車で利用される一般の方が多いと伺っておりますので、オリンピックのロードレースの道路環境としての安全性が確保できるよう対応してまいりたいと思っております。国道413号は一部すれ違いが出来ない狭い場所もあり、現在、改良工事を進めておりますので、なるべく早く、危険な箇所について整備を進めていきたいと思っております。

(企画部長)

最近、サイクリストが非常に多くなってきていることもあり、津久井警察署の方と協議をし、注意喚起をする案内看板の設置に向けた準備を進めさせていただいているところでございます。

(記者)

デリバリー給食による昼食支援についてですが、家庭環境により昼食を用意出来ない生徒とは、二十数名ということよろしいですか。

(教育長)

実際には、年頃ということもあり、本人の意思で昼食を食べないという方もいらっしゃいますので、二十数人の内訳というのは、必ずしも経済的な理由であるとか、保護者の問題だけではないということでございます。

(市長)

昼食を毎日用意できない、食べたくても持ってこられない方が数名いるということです。

(記者)

就学援助認定世帯の生徒への給食の支援というのは、給食費の支給から現物給付に切り替えるということでしょうか。

(市長)

本市のデリバリー給食は、給食費を事前に払い込む制度となっておりますことから、一時的に金銭の負担が発生し、その負担が大変だという家庭がいらっしゃいます。そこで、就学援助認定世帯については、事前に費用を負担することなく、給食を提供する制度を9月からはじめさせていただきます。

(記者)

公立小学校へのエアコン設置について、政府の方でも一部報道では全校設置に向け補助金を検討するとのことですが、この国の動きと、相模原市の全校設置に向けた取組は関連があるのでしょうか。

(市長)

本市は3年前からエアコン設置を計画的に進めております。中学校については平成29年度に37校全校の設置が完了し、小学校については、今年度も計画どおり当初予算に計上させていただいており、今年度の整備分が終了すれば残りが26校となります。本市としましては、授業時間数を確保するための夏休み期間の短縮も決定しておりますので、単独の市の財政負担があったとしてもエアコン設置をやり遂げようという取り組みを進めてまいりましたので、政府がこの異常気象を受けて、全公立小中学校にクーラーを設置するための補正予算案を提出するとの報道されておりますが、そうなれば、財源確保が確実に出来ることとなりますので、大変心強く思っております。来年の夏休みが短縮される8月25日までを目標に全校に整備したいと思っております。

(記者)

国庫補助などの財源の確保に努めながら、政府のエアコンへの補助についての発言とは別に、相模原市として検討を進めてきていたということでしょうか。

(市長)

その通りです。

(記者)

文部科学省が夏休み期間の延長などの検討を求める通知を自治体に出しているとのことですが、それについてはどのように対応しますか。

(市長)

エアコンが完備されていない学校については、気候等も考慮しながら、夏休みを延長するなどを検討してください、というのが国の方針だと理解しております。本市は来年には小・中109校全校に設置の目途が立ちますが、他の地域の子どもさんも厳しい環境にいますから、全国どの地域においても学ぶ環境がしっかり出来上がるといいなと思っております。

(記者)

文部科学省からの通知があるけれども、エアコンを整備することで、来年から予定どおり夏休みを短縮するということでしょうか。

(市長)

それはまた違う話です。夏休み期間を短縮するのは、学習指導要領が改正されたことで授業時間単位が増えたことが要因です。横浜市、川崎市はすでに夏休み期間の短縮を行っており、本市は来年度ようやく実施することになったわけです。国としては、学習指導要領の改正と、記録的な猛暑が重なり、子どもの体調や教育環境の悪化などが懸念されることから、学ぶ環境の整備としてエアコンを早急に整備する必要があると判断したのだと思います。

(記者)

先日、八王子市長との対談を実施されたということですが、八王子市長から相模原市に対する要望や意見はありましたか。

(市長)

八王子市長とは先日行われました首長懇談の席でお会いさせていただきました。人口減少や高齢社会を迎えるにあたり、近隣の市町村と連携していく必然性、特に圏央道、リニア中央新幹線、公共事業、防災など、首都圏南西地域における重要な役割を担っていく地域として連携して取り組みを進めていかななくてはならない事項が山積しておりますので、そのことについての共通認識させて

もらいました。これからも必要に応じて首長懇談や事務レベルでの協議も進めましょうという確認をさせていただきました。

(記者)

来年の4月に統一地方選挙についてお伺いします。現時点で進退に関する意向を明らかにする考えがあれば、その考えを教えてください。もし今はその時期でないということなら、いつ頃に考えを示すのかを教えてください。

(市長)

今まで市長として、様々な取り組みをさせていただきました。在任期間が残り1年弱になりましたが、在任中は仕事にしっかりと取り組んでいきたいという思いを強く持っております。来年の4月の統一地方選挙については、多くの市民や団体の方から次回も頑張ってくれないか、というご要望もいただいていることも事実です。進退については、しかるべき時に話す旨、後援会や団体にさせていただきました。これまでの例でいえば、9月の市議会定例会議で質問があるのでは、と思っています。

以 上